

# 診療カーによるオンライン診療の検討

- 国家戦略特区の枠組みにおいて、規制改革提案を行う中で、平成30年度から「オンライン診療」の要件緩和についても検討を開始
- 令和4年度からは、オンライン診療の実用化に向けて、市医師会・市薬剤師会・事業者・東北大学と共同で取組を推進
- より質の高い診療環境の構築を目指し、診療カーを活用したオンライン診療を検討

令和4年度実証

中山間地域



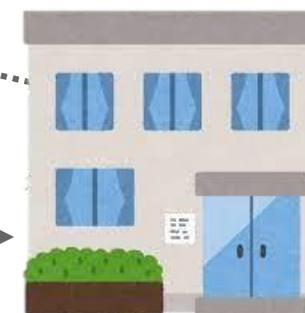
診療カー

● 医療・通信機器を搭載した車両に看護師等が乗車し、対象エリアへ訪問



通信と医療機器

遠隔で使用可能なバイタル、聴診、心電図等を計測できる機器類 + オンライン会議システムを搭載し、モバイル環境下で動作



仙台市  
中心部

# 診療カーによるオンライン診療の社会実装

- 令和4年度の実証を経て、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、仙台市の「防災環境“周遊”都市・仙台モデル推進事業」の一環として社会実装
- 実証結果を踏まえ、診療に当たり十分なスペースを確保できる大きな車両を構築
- 令和5年11月よりサービスを開始し、市内3か所の医療機関で活用を開始

新車両お披露会の様子



実診療（患者宅へ派遣）



# 仙台市におけるオンライン診療の特徴

## ①産学官連携による取り組み



## ②機器へのこだわり

▼テレプレゼンスシステム「窓」



▲独自の電子聴診器  
(開発中)

## ③国家戦略特区を活用した規制改革の提案

「オンライン診療環境整備」を提案〈2023.6〉  
診療カーを用いたオンライン診療を効率的に実施できるように、**実施場所の拡大**や**医学管理等の診療報酬料の算定**に関する提案を行い**実現**

➔ 高齢化・医師不足等の課題に対応し、**持続可能な医療提供体制の確保**を図る